

6th e-ICON World Contest 参加レポート

芝浦工業大学柏高校 鈴木悠美

1、事前準備について

○相手とのやり取りについて

e-ICON から送られてきたメールに私達のチームメンバーのメールアドレスが載っていたので、そこで韓国のチームメンバーとの連絡手段を得ました。最初は英語でやり取りしていましたが、意思がうまく伝えられないことが多く、後に Google 翻訳の日本⇄韓国語翻訳がとても良くできることがわかったので、最終的には韓国語と英語混じりの会話になりました。しかしメールでは返信に大きな間が空いてしまったりしてうまくいかなかったため、途中からは LINE でやり取りしていました。アプリの計画や個々の役割について話し合いましたが、うまく話を進められず、特に事前準備はせず本番に臨むことになりました。

○準備したこと

念のためポケット Wi-Fi を借りましたが、泊まったホテルや会場は Wi-Fi がとても充実していたため、あまり使いませんでした。しかしそれ以外の場所では、セキュリティ面も考慮した上で、Wi-Fi を繋ぐことは難しいと思います。あとは変換プラグと延長コードを用意しました。延長コードはホテルの部屋でとても重宝しました。航空券は前もってメールで送られてきたものを印刷して持っていきました。万が一に備え海外保険にも一応加入しました。また、動画やポスターで使えるような素材を沢山パソコンに保存して行きました。

○その他の持ち物

ホテルについては、シャンプー、リンス、ボディシャンプー、またバスタオルやドライヤーもホテルに完備してありました。あとはパソコン、デジカメを持って行きました。現地の作業場にはパソコンが配備されていなかったため、自分のパソコンを使用しました。デジカメは動画機能がついているものを持って行ったのですが、CM を作るための映像を撮るのに使ったので、持って行ってよかったと思いました。また、夜も作業するかもしれないということで、お菓子やレトルトを持って行きました。ホテルの宿泊部屋以外の屋内は基本的に冷房が効きすぎていて寒いので、羽織るものを持っていくべきです。

2、現地での様子

- 8/18 出国、ナイトツアー
- 8/19 オープニングセレモニー、コンテンツ開発
- 8/20 全日コンテンツ開発
- 8/21 同上
- 8/22 同上
- 8/23 プレゼンテーション、ショーの鑑賞

8/24 キャンパスツアー、エンディングセレモニー

8/25 帰国

【一日目】

韓国の空港に到着後、他の学校の日本人チームと合流しました。空港まで迎えに来てくださった ICON の方の案内でバスに乗り、ホテルに到着しました。夕食を食べた後、ロビーに招集され、そこで初めて自分のチームの韓国メンバーと対面しました。ナイトツアーは班ごとに行動したので、そこで韓国側と会話をしながら観光しました。韓国の気候は寒すぎず暑すぎず、爽やかで、とても心地よかったです。



ホテルの部屋は二人部屋でしたが、私は欠員のため一人部屋になってしまい、同じ学校の二人の部屋に移動してもらいました。部屋の空調は効きがよく、自由に調節できたため、快適でした。扇風機も用意されており、洗った服を乾かすのにとても役立ちました。

【二日目】

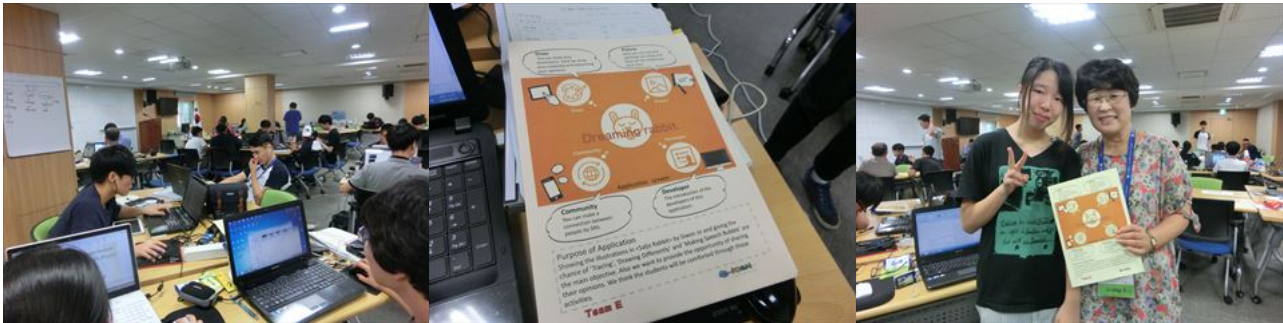
オープニングセレモニーでは、各チーム一人ずつ英語で自己紹介しました。その後会場で各班コンテンツ開発に取り組みました。韓国の生徒とも徐々にコミュニケーションが取れるようになり、生徒もコーチもとても親切に接してくれました。私は CM 制作とポスター作りを頼まれたので、その構想を考えていました。



【三、四、五日目】

ホテルの作業場で丸一日コンテンツ開発に取り組みました。場は和気あいあいとしていて、お菓子とドリンクサーバーが配備されていました。食事は決められた時間に食堂に行き、セルフサービスでご飯やおかずをトレイに盛りつける形式でした。その他は完全に自由行動で、途中部屋で休憩をとることも出来ました。CMはムービーメーカー、ポスターはパワーポイントで作りました。

CMは制作したアプリケーションを紹介するための動画で、プレゼンのときに審査員の前で見せました。ポスターもアプリケーションを紹介するためのもので、A4サイズで作りました。完成したのを見て韓国のメンバーやコーチに喜んでもらえたのでよかったですと思いました。

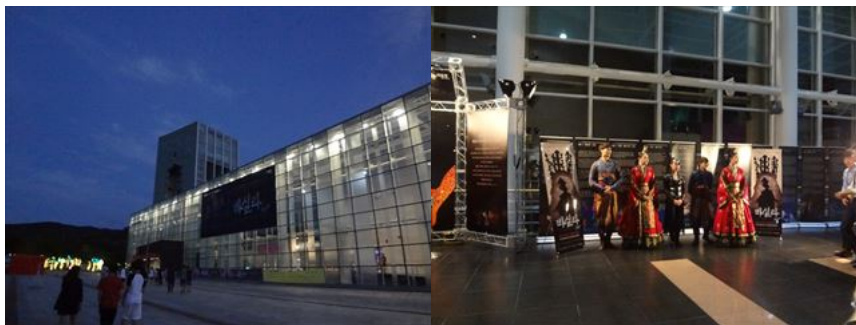


五日目にプレゼンの原稿をもらい、何度も読む練習をしました。また、毎晩夜食が提供されました。夜遅くまで作業場で作業している人も、部屋に戻っている人もいて、私は部屋に戻って作業していました。

【六日目】

午前で1ブロック、午後で2ブロックに分れ、各チームがプレゼンをしました。午前のチームはまずバスで会場に移動しプレゼンを行い、昼にホテルに帰ってきて、その後は自由時間でした。午後のチームは招集される時間までホテルでプレゼンの準備をし、昼を食べた後、バスで会場に移動しプレゼンしました。私達のチームは午後の1ブロック目だったので、昼を食べる時間があまりなく、慌てて食べました。かなり直前までプレゼンの準備をしました。緊張していましたが、本番ではリラックスしてのぞむことが出来ました。無事プレゼンが終了し、チームメイトとコーチと喜びを噛みしめました。全てのチームがプレゼンを終えた後、ショーを見に行きました。自由参加だったため、プレゼンを終え疲れがでたのか、ホテルに残った人も結構いました。ショーは歌がないミュージカルのようなもので、音楽や演出がとても凝っていて面白かったです。





【七日目】

韓国で力を入れているという、UNIST という大学のキャンパスツアーに行きました。とても広く、設備が素晴らしく整っていました。その後会場に移動しエンディングセレモニーが行われ、そこで結果が発表されました。私たちのチームは Best Innovation Award を受賞しました。エンディングセレモニーの後、写真撮影をし、韓国メンバーとお別れしました。その後日本のコーチのはからいで、日本人参加者のみで観光に行きました。韓国のタクシーやバスに乗って街を堪能できたので楽しかったです。お土産もそこで買いました。



【八日目】

5時にロビーに集合し、バスに乗って空港に行きました。そこで同伴して下さった ICONの方々と、他の海外の参加者とお別れしました。12時前に日本に帰国し、空港で解散して帰宅しました。



3、まとめ

急きょ、日本人一人での参加となり一時はどうなるかと思いましたが、同じ日本人参加者やコーチ、また韓国メンバーの助けがあったおかげで、無事乗り越えることが出来ました。ICON で出会った人々は本当にいい人ばかりで、私の拙い英語にも優しく対応してくださいました。少しずつ英語での会話にも慣れていきましたが、英単語とリスニングの大切さが身に沁みました。中高校生のうちに海外に行き、国の代表として外国人とともにコンテンツを開発しプレゼンするという体験は、滅多に出来ないことだと思います。私も韓国に行く前は不安でいっぱいでしたが、帰国後は本当に行けてよかったと思いました。きっと数十年経っても決して色褪せることはないだろうと思う程、濃密な時間を過ごすことが出来ました。これほど貴重な体験はなかなかありません。もしチャンスを得られて、行くかどうか迷っているならば、まず行ってみるべきだと私は思います。きっと人生においてかけがえのない財産となってくれるでしょう。このような機会を与えてくださった方々、そして e-ICON に関わる全ての人に感謝します。この経験を活かせるよう、努力していきたいと思えます。ありがとうございました。